

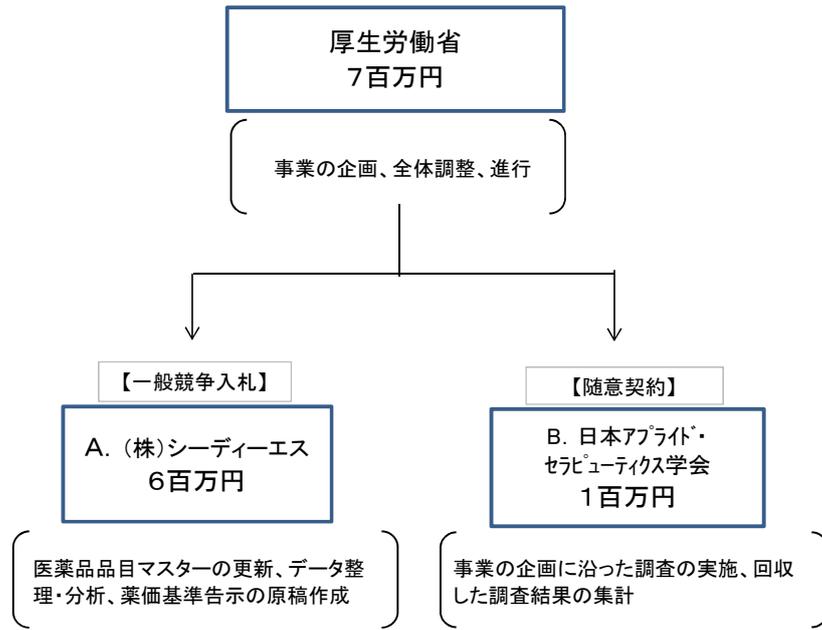
平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

<b>事業名</b>	薬価基準改正経費		担当部局庁	保険局		作成責任者	
<b>事業開始・終了(予定)年</b>	-		担当課室	医療課		鈴木 康裕	
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	IV-2-1 全国民に必要な医療を保障できるよう、高齢者医療制度改革を含め、医療保険制度を安定的・効率的に運営するために取り組む			
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	健康保険法(大正14年法律第70号)第76条		<b>関係する計画、通知等</b>	「平成22年度薬価制度改革の骨子」、「平成22年度診療報酬改定の基本方針」			
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	診療報酬改定に併せて「診療報酬の算定方法(平成20年厚生労働省告示第59号)」の規定に基づき定める「使用薬剤の薬価(薬価基準)(平成20年厚生労働省告示第60号)」の改正を行うに際し、当該基準既収載品の薬価の算定を正確かつ精密に行うために必要なデータの集計・分析・整理を行う。						
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	既収載医薬品(約1万5千品目)の薬価算定の基礎資料とするため、医政局経済課が過去3カ年間に実施した薬価調査のデータ及び隔年で実施する薬価本調査のデータを用いる等により、全薬価基準収載医薬品について薬価調査結果の概要を整え、品目ごと、薬効群ごと等の薬価ベース取引金額、使用量の推移等が解析できるデータを作成する。						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	12	12	11	11	8
		補正予算					
		繰越し等					
	計	12	12	11	11	8	
	執行額	9	7	7			
執行率(%)	73.3	55.4	67.7				
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	本事業は、薬価基準既収載品の薬価の算定を正確かつ精密に行うために必要なデータの集計・分析・整理を行うことを目的としており、具体的な数値目標を設定することは困難である。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	本事業は、医薬品の薬価等に関する各種データの集計・分析・整理等を実施するものであり、その実績を数量等で計れない性質のものであるため、定量的な指標を示すのが困難である。		活動実績(当初見込み)	-	-	-	-
				(-)	(-)	(-)	
<b>単位当たりコスト</b>	-		算出根拠	-			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	薬価基準改正経費	11	8	実績を踏まえた見直し			
	計	11	8				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・ 状況・ 予算の 状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	薬価基準既収載品の薬価の算定を行うための基礎資料を得ることを目的としており、広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	薬価の算定に関する基礎資料の収集が目的であるため、国が実施すべき事業である。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	一般競争入札による業者選定を行った結果によるもの。
資金の 流れ、 費目・ 使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定に当たっては、一般競争入札の実施又は、短期間における確実な履行等の必要性から実施した競争性がない事案の随意契約により選定を行っている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	一般競争入札を行うことにより、コストの削減に努めている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	データの集計、整理等、事業遂行のための必要な費目・使途に限定されている。
活動実績・ 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	薬価に関して実施された各種調査結果に基づいて集計、整理を行うことにより、実効性の高い手段となっている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	—
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	薬価基準既収載品の薬価の算定のための基礎資料として必要なデータが得られており、見込みに見合った活動実績となっている。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	—
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	—
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	薬価基準既収載品の薬価の算定のための基礎資料として活用している。	
点検 結果	執行額については、一般競争入札及び少額随契による結果によるものであり、特段の問題はないと判断。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状 通り	本事業の必要性の観点からの評価は概ね妥当であるが、引き続き適正な執行に努めるべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状 通り	—		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	269	平成23年行政事業レビュー	240

※平成23年度実績を記入



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)シーディーエス			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	帳票印刷・帳票出力オペレータ	3			
人件費	プログラム作成	2			
人件費	算定支援(SE)	1			
計		6	計		0
B. 日本アプライド・セラピューティクス学会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物件費	データ使用料、プログラム作成、 データ入力代等	1			
計		1	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)シーディーエス	医薬品品目目マスターの更新、データ分析等	6	2	57.7%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本アプライド・セラピューティクス学会	データ使用料、プログラム作成、データ入力代等	1	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					